

船橋市郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館館報

みゅーじあむ・船橋

平成28年9月

Funabashi Historical Museum & Tobinodai Historic Site Park Museum News
みゅーじあむ・船橋
Vol.7



第7号

博物館ニュース	[2]
船橋の明治・大正・昭和	[3]
訪ねてみよう！ご近所の遺跡	[4-7]
インフォメーション	[8]

博物館ニュース

この項では、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の企画展や事業について、ご紹介しています。今回は、両館で実施している見学会の様子をご紹介します。

飛ノ台史跡公園博物館

飛ノ台史跡公園博物館では、春と秋に「バスで訪ねる博物館見学会」を実施しています。ここでは、平成 27 年度に実施した見学会の様子をご紹介します。

春の見学会は、平成 27 年 5 月 23 日(土)に、流山市を訪れました。午前は、赤城神社、一茶双樹記念館、近藤勇陣屋跡を訪ねながら、国登録有形文化財の建造物が数多く残る市街地を散策しました。午後は、流山市立博物館を、学芸員の説明を聞きながら見学しました。

秋の見学会は、平成 27 年 11 月 7 日(土)に、香取市を訪ねました。午前は、まず、小見川にある夢紫美術館を見学しました。同館は、貝紫染色の染織工芸品を展示している、国内でも唯一の貝紫博物館です。参加者一同、織物の色の鮮やかさに、目を見張りました。見学後は、バスで移動し、佐原の街並みを散策しました。午後は、香取神宮の見学です。朱塗の大鳥居をくぐり、重要文化財の楼門と本殿を見学しました。

平成 28 年度春は、5 月 21 日(土)に、府中市郷土の森博物館を見学しました。秋の見学会と併せて、次号以降でご紹介します。

郷土資料館

郷土資料館は、毎年春と秋に「船橋の歴史散歩」、夏に「親と子の歴史見学会」を実施しています。平成 28 年度は、5 月 14 日(土)に「船橋の歴史散歩 9 海神塩田と戊辰戦争の史跡を訪ねる」を実施し、穏やかな陽気のもとで、市内の史跡を巡りました。そして、7 月 22 日(金)には、「親と子の歴史見学会—日本橋を味わう—」を実施し、三井記念美術館、日本銀行金融研究所貨幣博物館等を見学しました。

右の写真は、三井記念美術館にて、美術館探検の後に、答え合わせをしている様子です。積極的に学ぼうとする子どもたちの姿に、学芸員も刺激を受けた 1 日でした。

【見学会のご案内】

○郷土資料館

「船橋の歴史散歩 10 習志野原の跡を歩く—一枚の中に人の暮らしを探して—」

平成 28 年 10 月 15 日(土) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分

○飛ノ台史跡公園博物館「バスで訪ねる博物館見学会」

平成 28 年 11 月 12 日(土) 午前 8 時 45 分～午後 4 時 30 分

甲斐国分寺跡、釈迦堂遺跡博物館（山梨県笛吹市）

詳細は、市広報 10 月 15 日号でお知らせします。



バスで訪ねる博物館見学会
(一茶双樹記念館)



親と子の歴史見学会
(三井記念美術館)



縄文生け花展
(協力：船橋市華道連盟)

～ 船橋の明治・大正・昭和 ～

船橋市の梨栽培

千葉県域で梨の栽培が始まったのは江戸時代と言われています。八幡地方（現在の市川市八幡）を中心に、船橋市域でも栽培されていたようです。

明治時代になり、交通の便が良くなってくると、船橋市では東京に出荷する商品作物を多く生産するようになっていきます。商品作物の栽培は、葛飾・船橋・海神・宮本等（現在の西船橋駅～東船橋駅辺り）から始まり、昭和時代には船橋市北部でも行われるようになりました。

昭和 35 年（1960）、船橋市は果樹植栽 5 ヶ年計画を立案し、組織的に梨の栽培を推奨しました。当時、船橋市の梨の栽培面積は約 20ha ほどでしたが、市は 165ha の栽培面積を目標に掲げています。

具体的には、全市組織の船橋市ナシ研究会（後の船橋市果樹園芸組合）を組織し、技術指導にあたりました。さらに、栽培面積が 30a 以上の新植者に 10a あたり 2500 円の助成金を支給するなど、市や農協が一体となって梨の栽培を推し進めていきました。

昭和 42 年（1967）には撰果場が建設され、梨とトマトの完全共選が行われるようになります。また、9 台ものスピードスプレー（薬剤散布用の噴霧機）が導入され、病虫害防除の共同化が進められました。

約 20ha ほどだった梨の栽培面積は、昭和 55 年（1980）には 121ha、平成 2 年（1990）には 183ha、平成 12 年（2000）には約 230ha になり、果樹栽培は船橋市の特色といえる産業に発展しました。

しかし平成 17 年（2005）には約 210ha、平成 22 年（2010）には約 180ha と、果樹の栽培面積は年々減少しています。減少の理由は、農家の減少、年々増加する人口に伴って住宅地化が進んでいることなどが挙げられます。

現在、船橋市では、「幸水」・「豊水」を主力品種として、さらなる大玉・高品質果実生産を目指した梨栽培が行われています。



梨狩りの様子
昭和 48 年
(1973) 撮影

また、平成 26 年（2014）11 月には「船橋のなし」が地域団体商標に登録され、ブランド化されました。梨の栽培は、今や船橋市が全国に誇る一大産業です。（S.Y）



船橋のなし
平成 26 年
(2014) 撮影

《主な参考文献》

- 『千葉の果樹』（千葉県果樹園芸組合連、1968 年）
- 『船橋のなし』（船橋市、1968 年）
- 『船橋の梨経営』（船橋市経済部農水産課、1978 年）
- 『ふなばしの農業』（船橋市、1991 年）
- 『市史読本 船橋のあゆみ』（船橋市、2003 年）
- 『船橋市史現代篇 上』（船橋市役所、1965 年）
- 『ふなばし市政の概要 平成 27 年度版』（船橋市議会事務局、2015 年）

船橋市域における戊辰戦争

慶応4年（1868）1月3日、旧幕府方と明治新政府方の戦いが京都の鳥羽・伏見でおきました。この戦いは戊辰戦争と呼ばれ、明治2年（1869）5月の箱館五稜郭の戦いまで1年5か月続きました。この戊辰戦争の局地戦に、慶応4年閏4月3日に起こった「市川・船橋戦争」と呼ばれる戦いがありました。



図1 武蔵・下総 葛飾郡之図（国立歴史民俗博物館蔵）

戦いの様子を描いた図1には、松戸・市川・浦安辺りから船橋まで無数の兵士が戦っている姿やおそらく旧幕府軍兵士を満載した7隻の軍船が千葉・木更津方面に向かう様子が描かれています。本稿では、この戦いの様子を、市内の遺跡を紹介しながら見ていきます。

1 船橋市域における戊辰戦争前夜

鳥羽・伏見の戦いの後、3月14日に旧幕府方の勝海舟と新政府方の西郷隆盛の会見が行われ、4月11日の江戸城明渡しが決まりました。これを不満に思う旧幕臣達は、江戸から脱出し関東各地で挙兵します。その中の一つに福田八郎右衛門率いる5大隊約1,500名からなる撤兵隊（さんぺいたい・さっぺいたい）がありました。

撤兵隊は4月中頃に木更津真里谷村真如寺に本陣をおき、福田八郎右衛門を総督として「徳川義軍府」と称しました。4月23日に第一大隊（隊長江原鑄三郎、後「素六」に改名）は中山法華経寺、第二大隊（隊長堀岩太郎）は船橋大神宮、第三大隊（隊長増田直八郎）は姉崎妙経寺に約300名ずつで進出しました。この行動は、撤兵隊と同様に江戸を脱出し、市川国府台に集結していた大鳥圭介率いる旧幕府軍との連携を目指したものでしたが、すでに大鳥軍は下野方面に移動した後でした。

2 船橋市域の戊辰戦争

一方、新政府軍は市川真間弘法寺に本陣をおき、撤兵第一大隊と武装解除・恭順の交渉をする一方で攻撃態勢を整えていました。その陣容は本陣に岡山・津藩兵約400人、行徳に福岡藩兵約100人、八幡に岡山・津藩兵約80人、鎌ヶ谷に佐土原藩兵約200人を配備し、交渉が決裂した場合閏4月3日に撤兵隊を攻撃する予定でした。これを事前に察知した第一大隊が、閏4月3日午前2時頃法華経寺を出発して八幡の岡山藩陣地を攻撃したことから戦争が始まりました。

九日市村（現、本町）の右島清海は、戊辰戦争の体験を「懼畏記」（『船橋市史史料編四下』所収）に著しています。その冒頭部分を、読み下し文で紹介します。

下総国八幡町にて戦争相始まる、官軍方市川村辺え引き揚げ候よし⁽¹⁾、市川本村は残らず兵火のため焼失のよし、同日朝夏見村台上山新田地内にて戦争⁽²⁾、双方打ち死にこれあり候よし、同日昼四ツ時頃より大南風吹き出し、鎌ヶ谷（「谷」脱か）村に御旅宿の官軍勢西夏見村え出張る、それより船橋宿え出張る、関東方人数船橋宿に旅宿罷り在り、戦争に相成り、官軍方人数漁師町え廻り、風上より砲発、関東方敗走同日（閏4月4日）、八幡町市川辺に戦争の関東方人数船橋え引き上げ来たり、西海神村下道にて行徳より出張りの官軍方に出会う、大戦争これあり⁽³⁾、双方打ち死にこれあるよし

※「官軍」は新政府軍に参加した各藩、「関東方」は撤兵隊のこと。



図2 船橋市域周辺の戊辰戦争戦闘図（慶応4年閏4月3日）

文中下線の(1)～(3)で、激しい戦いがありました。以下、戦いの様子を詳しく見ていこうと思います。

(1) 下総国八幡町から市川村

閏4月3日午前3時30分頃、撤兵第一大隊約200人は八幡に駐留している岡山・津藩兵約80人を攻撃しました。兵数で勝る第一大隊は優勢に戦いを進めました。途中、津藩からの応援と市川方面からの砲撃がありましたが、3時間程の激闘の末、岡山・津藩兵は市川宿方面に退却しました。第一大隊はこれらを追撃し午前10時頃には市川宿を占領しました。早朝からの戦いで疲れ切っている江原大隊長と部下は、市川宿で合流した旧幕府靖難隊に任せて法華経寺に戻りました。ところが、昼頃になると松戸・小岩方面から新政府軍（薩摩・岡山・津藩）の援軍が駆け付けたため形勢が逆転し、船橋方面へ撤退しました。この間、新政府軍は市川宿の民家に火を放ち127戸が焼かれ、市川方面での戦いは終わりました。

(2) 上山新田・夏見村・船橋宿

鎌ヶ谷村に駐留していた佐土原藩兵は、同日午前5時頃、八幡方面での銃声を戦闘開始の合図と思い込み、藩兵約100人で木下街道から馬込沢を経由して船橋宿へ向けて進撃を開始しました。途中、上山新田、夏見村周辺で撤兵第二大隊前衛部隊と戦闘になり両軍とも戦死者が出ました。しかし、臼砲（臼型の大砲）と連発銃で武装した佐土原藩兵が戦いを優勢に進め、退却する前衛部隊を追いながら午前11時頃に船橋宿に突入しました。

佐土原藩兵は、臼砲隊を現在の本町通りにあるNTT船橋本町ビル付近に据え、第二大隊が本陣を置く大神宮

へ向けて砲撃を開始するとともに、銃隊は二隊に分かれ御殿通りと漁師町の道を通って進撃を開始しました。第二大隊は応戦をしましたが、臼砲隊を大神宮の南に移動させて砲撃を加えたところ、砲弾の直撃を受けて大神宮境内が炎上したので、第二大隊は大神宮北の宮坂方面に避難しました。さらに、この辺りでも佐土原藩兵と激しい戦いが行われて、火が宮坂まで及んだため、第二大隊は大和田方面に退却しました。その後も第二大隊の残兵が激しく抵抗を続けたため、残兵を焼き出すため佐土原藩兵は船橋宿に放火しました。この火は東南の強風にあおられて、図3のように船橋宿の約50%の以上の家屋が焼失し、多数の罹災者が出ました。船橋大神宮境内には、この戦いの時に被弾した木の子木が、写真1のように、現在も注連縄を張られて、神木として祀られています。



写真1 大神宮の神木

(3) 西海神村下道

午後1時過ぎ、法華経寺で休んでいた第一大隊へ、「敵が船橋の第二大隊を襲ってきたが、敗れて市川方面へ退却してくる」という報告が届きました。敵を迎撃するために江原大隊長は約40名を引き連れ船橋宿に向かいます。その途中、千葉街道と行徳街道の合流地付近で福岡藩兵と遭遇したため銃撃戦となりました。この銃撃戦の最中に江原大隊長と福岡藩士小室弥四郎の格闘が行われました。この様子を第一大隊小隊長古川善助が「戦闘私記」（『江原素六先生伝』所収）に著しています。以下は、その意識です。

私の左側にいた江原隊長は突然立って、約35m先の水田の中にいる敵を捕えようとして走っていった。隊長は素手だったので「あぶない斬っておしまいなさい」と大声で叫んだ。が、風が強く聞こえなかつ



図3 戊辰戦争船橋宿罹災図

た。敵は隊長を組み伏せ右手に大刀ひらめを閃かせていたが、隊長は素手でこれを防いでいた。私は駆けつけ抜刀して敵の左背に一撃したが刀が短くて届かなかった。一步踏み込み第二刀で敵の頭を割り鮮血が吹き出るのを見とめた。駆けつけてきた味方兵が鉄炮の台尻で敵の背中を打った。刀を落としたので隊長は無事に立つことができた。敵は苦悩し奇声を発しながら立っては倒れ、両手を挙げて空をつかみ、また開いてはつかむ惨状はこのうえなかった。隊長が「介錯してやれ」というので、敵の背後から鉄炮で一発撃って絶命させた。

※ 江原大隊長の回顧録（『江原素六先生伝』所収）では、古川の小屋への第二刀は刀ではなく「鉄炮の台尻で背中を打たせて命拾いをした」など相違がみられます。



写真2 左：江原素六（『江原素六先生伝』より転載）
中央：小室弥四郎（沼津市明治史料館蔵）
右：小室弥四郎の墓石（海神念仏堂）

この直後、江原大隊長は福岡藩兵から狙撃されて左足に三発の弾丸を受けて動けなくなり戦線を離脱します。

この後の江原大隊長の動向を回顧録により見たいと思います。

江原大隊長は、部下に連れられて写真3の山野浅間神社境内山林に逃れ、その後、山野村の留守になっている民家で一夜を過ごしました。動けない江原大隊長は、避難先から家に戻ってきた村人たちに救われます。村人たちにより、江原大隊長は長持の中に入れられて山野村字蛇沼じゃぬままで運ばれ、雑林あぜみちの畦道に埋められて7日間過ごしました。新政府軍の探索が打ち切



写真3 山野浅間神社境内

られると 村人たちが家に運んでくれましたが、傷が化膿してひどいことになっていたので自分で消毒して辛抱強く回復を待ち、多少歩けるようになった5月16日の未明に船橋の海岸から江戸霊岸島に上陸し、17日夜、四谷愛住町の自宅に戻りました。

3 新政府軍の房総鎮圧と撤兵隊士の降伏

新政府軍は、閏4月7日に五井・姉ヶ崎で撤兵第三大隊に勝利し、さらに、撤兵隊を追撃して8日「徳川義軍府」本陣の真如寺へ進出しました。この時、すでに7日の敗戦を聞いた福田総督は本陣を捨てて大多喜方面へ撤退していました。この結果、撤兵隊は組織的な軍事行動は終了し、隊士は房総・常陸各地で新政府軍に降伏しています。

一方、東海道先鋒副総督柳原前光やなぎわらさきみつは、閏4月4日に房総鎮撫軍を引き連れ千住宿を出発し、5日に市川国府台総寧寺に入り房総鎮撫に取り掛かりました。6日に戦火に焼かれた船橋を通り、佐倉から茂原を通り大多喜へと軍を進め数日間滞在して、22日に千葉登戸湊より江戸へ向かいました。ここにほぼ房総が平定されました。

4 戦争でひと・ものはどんな被害を受けたか

(1) 兵士の墓標

この戦いでの人的被害はどれくらいあったのでしょうか。『市川市史 2』によると「実際より少ないと思われますが」と但し書きを入れた上で、戦死者37人（新政府側13人、旧幕府側20人、夫人足4人）をあげています。戦死者全てではありませんが、現在確認できる戦死者の墓石と分かる範囲でその最期を紹介します。

①下総国八幡町から市川村の戦い

○東昌寺（市川市八幡）

・津藩士 菅鍋三郎

・岡山藩士 花房喜太夫 信正卯平

※ 花房、信正とも銃隊に属し、「討死」と総督府に報告されています。

○中山法華経寺（市川市中山）

・撤兵隊士 鈴木音次郎（墓石、現在所在不明）

※ 八幡の戦いで戦死。古川善助「戦闘私記」によると「民家の裏に至れば一下士の鮮血中に倒るるあり、刀銃ともに敵に奪取せられたるものの如し。是れ第二中隊の下士鈴木音次郎なり」

②上山新田・夏見村・船橋宿の戦い

○鎌ヶ谷大仏墓地（鎌ヶ谷市鎌ヶ谷）

・佐土原藩士 蓑毛次右衛門 姓氏不詳巳之助

○安立庵（馬込町）

・佐土原藩 姓氏不詳常吉

※ 常吉は胸・腹・大腿部に銃弾を浴び、腕に刀創を受けて、付近の四辻に倒れていたといわれています。

○法宣庵（上山町）

・撤兵隊士 鈴木梅之輔

○旭町三丁目共同墓地（旭町）

・撤兵隊士 姓氏不詳 戒名 青蓮院法進日明信士

※ 馬込の戦闘で傷つき後貝塚村高橋家に逃げ込みかくまわれましたが、村人が来た物音を残兵狩りと勘違いして自刃したと言われています。

○東光寺（宮本5丁目）

・撤兵隊士3名 姓氏不詳

戒名 源儀院涅槃大興居士

泰聖院伝寿得道居士

達想院大徳蓮花居士

○慈雲寺（宮本6丁目）

・撤兵隊士 綿貫元吉

※ 敵の銃弾を受けて戦死しました。この墓は明治2年10月に江戸の亀井清兵衛が建立しています。

○了源寺（宮本7丁目）

・撤兵隊士 菅野鋭亮源元資

※ 戦闘で傷つき新政府軍に捕らえられ、斬首されました。首が了源寺門前に放置されていたので、住職がこれを憐れみ、埋葬して供養したそうです。

③西海神村下道の戦い

○念仏堂（海神1丁目）

・福岡藩士 小室弥四郎

従卒 彦市・喜市・勝平

※ 小室は江原と格闘の末戦死しました。従卒3人の詳細は不明です。

・姓氏不詳 戒名 心誠院衞刃喜樂居士 脱走方 誠志院向銃勇照居士 同 慈誠院臨刃躍応居士 同 誠忠院逢銃善心居士 同 華誠院連刃光西居士 薩州

※ 脱走方（撤兵隊）4人と薩摩藩士1人の戒名が平成25年に再建された墓石に刻まれています。戒名の「銃」「刃」の一字は、それぞれ「銃で撃たれ」「刃で切られ」て最期を迎えたと思われます。

これらの墓石のうち新政府軍に属した戦死者は明治

19年千葉県によって建立されていますが、撤兵隊士の墓石は、縁者或いは地域住民が建立しました。明治期の反幕府意識の強い中で、縁者や地域住民が危険を承知で墓石を建立したことに、建立者の心意気を感じられます。

(2) 船橋市域の被害状況と見舞金

東海道先鋒副総督柳原前光一行は、閏4月5日に市川国府台総寧寺、6日に大和田に宿泊しています。その間、戦場となった市川・船橋の被害の様子を目の当たりにします。「総房鎮撫日誌」では、一行が戦場となった住民達へ新政府に敵意を抱かないように各村の被害状況を調べ救助金を与えたことが記載されています。

①市川村 救助金 金500両

焼失家数127軒 罹災者669人

②船橋宿 救助金2219両

九日市村 焼失家数562軒 罹災者3091人

五日市村 焼失家数221軒 罹災者1171人

海神村 焼失家数31軒 罹災者176人

③西海神村 救助金144両2分

焼失家数60軒 罹災者189人

④東夏見村、西夏見村 救助金71両2分

焼失家数28軒 罹災者143人

この他に、五日市村の川奈部佐五右衛門（金1400両）、川奈部佐兵衛（金140両）より五日市村と九日市村の罹災者へ救恤金きゅうじゆつきんが渡されています。

(3) 右島清海『懼畏記』にみる戦争体験

右島清海始め船橋宿の人々は、戦場で何を感じたのか、再び『懼畏記』で体験した様子をみたいと思います。

同日（閏4月4日）、船橋宿にて砲発の儀物恐ろしく、不意の事故ことゆえ、いずれも周章転倒謂われがたなし、銃音に恐怖いたし、人々荷物持ち運びも相成らず、身一つ漸く逃げ出し候事

大砲のものすごい発射音や銃声に恐怖を感じています。宿場の人たちには突然のことで、あわてて取るものも取らず身体一つで逃げ出していることが記録されています。

人々にとって、この戦いは、生活の場が戦場となり、生命が脅かされ、多くの人が傷つき、亡くなり、多くのものが焼かれ、失われて、戦争が終わりました。

(M.Y)

《主な参考文献》

山形紘『市川・船橋戦争』（崙書房、1983年）

内田宜人『市川・船橋戊辰戦争』（崙書房出版、1999年）

郷土資料館

(耐震補強・エレベーター設置工事等のため休館中)

現在は、事務室を飛ノ台史跡公園博物館に移転し、業務を行っております。船橋の歴史に関するお問い合わせや、収蔵資料・写真パネル等の貸出・展示のご要望は、変わらずにお受けしておりますので、月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)の午前9時～午後5時の間にご連絡ください。電話番号は、移転前と同じ(047-465-9680)です。

なお、リニューアル・オープン時期は、平成30年1月を予定しております。ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくの間、お待ちください。

※ 薬円台公園内のSL運転席の公開日時が、毎週日曜日(年末年始・雨天時を除く)の午前10時～午後4時になりました。

飛ノ台史跡公園博物館

☆講座 縄文大学「船橋の遺跡展—里帰りした資料たち—」

今年は企画展に関連した講演です。当日先着順。

内容: 下記のとおり。 会場: 船橋市民文化創造館きららホール(船橋駅前FACEビル6階)

時間: 午後6時30分～8時(受付開始は午後6時から) 受講料: 無料 定員170名

期 日	内 容	講 師
10月7日(金)	船橋市金堀台貝塚と印旛沼水系における縄文時代後・晩期の遺跡	阿部 芳郎氏 明治大学 文学部 教授
10月14日(金)	房総半島の旧石器時代 ～船橋市源七山遺跡を中心に～	田村 隆氏 元 千葉県教育振興財団 文化財センター
10月21日(金)	船橋市後貝塚出土の縄文土器について ～戦前の日本大学発掘調査の成果～	寺内 隆夫氏 長野県立歴史館 専門主事
10月28日(金)	船橋市内出土の墨書土器	栗田 則久氏 千葉県教育振興財団 文化財センター 上席文化財主事

★企画展「船橋の遺跡展—里帰りした資料たち—」平成28年11月1日(火)～12月28日(水)

発掘調査は船橋市だけでなく、大学や千葉県教育委員会等によっても行われています。そうした調査を行った千葉県教育委員会、日本大学などが所蔵している船橋市内出土の資料が里帰りし、展示されます。

☆郷土資料館企画展「くらしの道具—道具が語るくらしの歴史—」平成29年1月14日(土)～2月12日(日)

小学校3・4年生で学習する「むかしの道具とくらし」に合わせ、むかし使われた道具を展示します。

郷土資料館の出張展示です。 会場: 1階ギャラリー

★講座 考古学講座(海神公民館と共催) 平成29年1月14日(土)・21日(土)・28日(土)

身近な遺跡や地域の歴史等を学びます。 会場: 海神公民館

☆第6回飛ノ台史跡公園博物館・海神中学校校合同展「日本の美を今に活かした作品展」平成29年2月23日(木)～3月19日(日)

海神中学校と飛ノ台史跡公園博物館の縄文土器を活用した連携事業で制作した生徒の作品を展示。 会場: 1階ギャラリー

郷土資料館

(現在休館中)

受付時間 午前9時～午後5時

休 業 日 土曜・日曜・
祝日及び年末年始

住 所 船橋市薬円台4-25-19

事務室は飛ノ台史跡公園博物館に移転しています。

電 話 047-465-9680

F A X 047-467-1399

Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

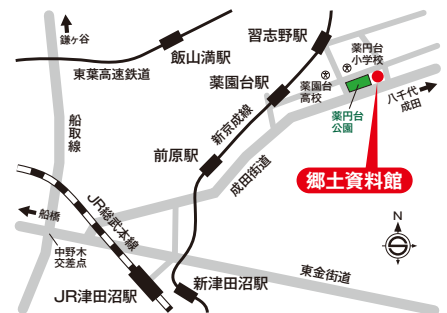
交通案内

新京成電鉄 習志野駅下車 徒歩10分

JR 津田沼駅北口から

習志野新京成バス「高津団地中央」「北習志野駅」行き、または、ちばレインボーバス「八千代緑が丘駅」「船尾車庫」「JR木下駅」行き

「郷土資料館」下車徒歩1分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

入 館 料 一般100円(団体20名以上70円)

児童生徒50円(団体20名以上30円)

市内在住中学生以下 無料

住 所 船橋市海神4-27-2

電 話 047-495-1325

F A X 047-435-7450

Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン(野田線)

新船橋駅下車 徒歩8分

京成線 海神駅下車 徒歩15分

東葉高速鉄道 東海神駅下車 徒歩12分

新京成バス

JR 船橋駅北口から建鉄循環

「海神中学校」下車 徒歩1分



10月							11月							12月							平成29年 1月							2月							3月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1													1	2	3																					
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				26	27	28					26	27	28	29	30	31			
30	31																																									

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

休

□ は飛ノ台史跡公園博物館休館日 郷土資料館は平成30年1月(予定)まで休館致します。